

令和5年9月27日 決算特別委員会 議事録

11時40分 開会

○出席委員 (7人)

委員長 日域 究

副委員長 末広 天佑

委員 北地 範久、小出 哲義、小田上 尚典、山崎 年一、細川 雅子

副議長 寺岡 公章

○北地議長 大竹市議会委員会条例第9条第2項の規定により、委員長が互選されるまでの間、年長の委員が臨時委員長の職務を行うこととなっております。年長の委員は山崎委員でございますので、御紹介申し上げます。

山崎委員、よろしくお願いいたします。

○山崎臨時委員長 定足数に達しておりますので、ただいまから決算特別委員会を開会いたします。

これより、日程に入ります。

お諮りいたします。

臨時委員長の職務は委員長の互選だけでございますが、この際、日程1、委員長の互選について及び日程2、副委員長の互選についてを一括議題といたしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○山崎臨時委員長 御異議なしと認め、本2件を一括して議題といたします。

互選の方法といたしましては、選考委員を選出して決定する指名推選の方法と、投票による方法がございますが、これまでの慣例どおり、選考委員を出して指名推選するというところでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○山崎臨時委員長 御異議ないようでございますので、選考委員を出して指名推選ということにいたします。

選考委員は、臨時委員長において指名してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○山崎臨時委員長 御異議ないようでございますので、臨時委員長において小出委員、小田上委員、細川委員の3名を指名いたします。

選考委員におかれましては、委員長と副委員長をあわせて選考してくださるようお願いをいたします。

議事の都合により、暫時休憩いたします。

11時41分 休憩

11時43分 再開

○山崎臨時委員長 休憩前に引き続き、会議を開きます。

選考委員からの報告をお願いいたします。

○小田上委員 休憩中、選考委員で協議した結果、委員長に日域委員、副委員長に末広委員を推薦いたします。

○山崎臨時委員長 ただいま選考委員の報告のとおり、日域委員を委員長に、末広委員を副委員長に決定して御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○山崎臨時委員長 御異議なしと認め、よって、委員長は日域委員に、副委員長は末広委員に決定いたしました。

以上で、臨時委員長の職務を終了いたします。

委員長と交代します。

○日域委員長 ただいま、私、日域が委員長に、末広委員が副委員長に皆様の御推挙により選任いただきました。皆様の御協力を賜り、円滑で充実した委員会運営を進めてまいりたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、日程3、決算特別委員会の日程についてを議題といたします。

事務局の説明をお願いいたします。

局長。

○山田議会事務局長 それでは、決算特別委員会の日程（案）につきまして御説明を申し上げます。

決算特別委員会日程（案）を御覧いただきたいと思います。

説明が前後いたしますが、審議日程でございますけれども、10月20日、23日、24日と、予備日を25日ということで考えております。

日程（案）の最初に戻っていただきまして、まず、資料要求についてですけれども、昨年の決算特別委員会、本年の予算特別委員会と同様な流れというふうにしております。まず、10月3日火曜日の正午までに、事務局まで書面で資料要求をしていただきます。電子メール、FAXによる提出でも対応可能でございます。メールの場合ですけれども、メール本文への直接入力というのはなるべく控えていただきまして、ワードに必要な資料の情報を入力し、メールに添付して送付するようお願いできたらと思っております。

なお、表などの資料を希望する場合には、どのような表を御希望されているかが分かるように、エクセル等のデータで、簡単な表のイメージを添付していただけますと手直しが少なく済むかというふうに思いますので、よろしくお願いいたします。

資料要求を取りまとめましたら、事務局から担当課に送付をいたしまして、作成可能であるかということを照会いたします。その際に、要求内容に不明な点がございましたら、担当課から直接、要求された議員のほうに電話等で内容を確認させていただきます。

作成可能である資料につきましては、各担当課において作成をしていただきまして、データを取りまとめた後、10月10日火曜日の正午までに、サイドブックスに掲載をいたします。

10月11日の水曜日10時から、決算特別委員会を開きまして、委員の御要望に沿った資料となっているかどうか確認をしていただけたらというふうに思います。

修正が必要なものがございましたら、その際にお伝えをしていただきまして、修正した資料につきましては、10月20日金曜日、審査初日にはなりますけれどもサイドブックに掲載ということになろうかというふうに考えております。

なお、現在、議会運営委員会での協議・決定事項を踏まえまして、常任委員会等につきましても、発言の事前通告をしていただきますよう御協力をお願いし、議会運営を行ってきたところでございます。

決算特別委員会におきましても、発言の通告に関しまして、全会計について、10月17日火曜日正午までに提出をお願いできたらというふう思っております。

通告書の提出にあたりましては、会議時間の短縮、説明員の待機時間の縮減など、円滑な議会運営のため、項目だけでなく、できるだけ具体的な内容の記載につきまして、御協力をお願いいたします。

また、通告書は、決算特別委員会終了後に事務局からメールで送付する様式を使用していただきますよう、お願いを申し上げます。

以上でございます。

○日域委員長 ただいま事務局から説明がありましたが、質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○日域委員長 質疑なしということでございます。

それでは、要求資料につきましては10月3日火曜日正午までに、書面で議会事務局に提出をお願いいたします。

次に、資料の確認のため、10月11日10時から委員会を開催いたします。審査日程につきましては、10月20日、23日、24日と25日は予備日として開催いたします。委員会における発言については、先ほど事務局から説明があった提出期限までに、書面による通告に御協力をお願いいたします。

なお、事前にレターボックスに配付されている市政のあらましなどの印刷物を、決算審査資料として十分に活用いただくようお願いいたします。

以上のような取り扱いをしたいと思います、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○日域委員長 御異議ないようですので、そのような取り扱いをさせていただきます。

ここからは、委員のみの協議となりますので、執行部の皆様は退席いただいて結構かと思えます。よろしくお願いいたします。

続きまして、日程4、決算審査と議会提案についてを議題といたします。

昨年の決算特別委員会から、決算審査と議会提案に取り組みました。サイドブックに資料を掲載しておりますが、今年も同じように取り組むということで御異議ございませんか。

小田上委員。

○小田上委員 試行していくべきということで、今までこの決算で提案っていうのは直にされていないという認識があるんですが、やるかやらないかというところではやっていくべきなんだろうとは思いますが、この日程感、スケジュール感を意識した上で、12月の定

例会に臨んでいかないと、結局意見まとめられずに、そこからの意見集約というのにも間に合わないとなっていくしますので、やるからには、例えば、11日の資料確認のときに、そこまでの日程を決めるとか、具体的な日程決めて取り組んでいかないと、なかなか提案までの道のりは難しいのかなと、これまでの経験上感じております。

以上です。

○日域委員長 はい。という御意見でしたけど、それに対して何かございませんか。

〔「賛成」と呼ぶ者あり〕

○日域委員長 賛成ですね。

なかなか、まとまってないから、書くほうは。だから、スケジュール感を持ってきちんと早めに詰めていかないと、間に合わないということですね。

副議長。

○寺岡副議長 この決算審査と議案提案についての趣旨というのを、このたび初めて決算特別委員会に臨まれる方もいらっしゃるので、どこかの場面で御説明をいただいております必要があるのではないかなと思います。

委員はもちろんですけど、傍聴されている皆さん方も、来年の決算特別委員は別メンバーになりますから、この時点で一度、次回で構いませんので御説明いただきたいと思います。

それを踏まえて、このたびの決算特別委員は3日間の審査を過ごしていくというふうなのがいいのではないかなと思います。

○日域委員長 はい、分かりました。今の副議長の御意見について、異議はないですね。

私、しゃべれと言われたら多少はしゃべりますけども、この決算特別委員会でまとめて執行部に意見を届けるという、何年か前からやっていますけども、それを決めたときの趣旨を示したような文章が、どこかありますよね。議事録にはあるでしょうけども。ここにあるのか。用意してあるのか。すみません、どうも。この文章どおりに進んでいないので、ごめんなさい。

サイドブックに掲載している令和3年8月18日の議会改革特別委員会の議事日程に、心構えや取り組みに対する考え方があるので参考にする、とここに書いてありますけども、これに今のこと、記載されていますかね。

局長。

○山田議会事務局長 今、お示しをさせていただいたものは、2年前のときの1つの案というふうに認識をしておりますので、このこと自体が正式に決まっているということではないんですが、当時こういった形でまず試行しながらやってみようということで、ベースになっているものだというふうには思いますので、これを踏まえながらどういった形でやっていくのいいかというのは、また御検討いただけたらというふうに思います。

○日域委員長 はい。これを決めたときの当時の記憶が、私の頭の隅っこには残っているんですけども、行政と言いますかね、この決算というのは意味合いとして、次の予算に生かすというのがどこかにあるんですよね。そのために皆さんがここで、発言の中で要望しますとかいうことを、当時結構軽々におっしゃってたんですけども、そういう個人の要望で

はなくて、委員会としてまとまるものであればまとめて、絞り込んでまとめて、それで執行部のほうに来年度の予算に生かしてくださいねって言うてお願いすると、議会の、委員会としての重みが、伝わりやすいということで始めたような気がします。

いざとなつて、1つじゃなくてもいいんですけども、絞り込んで伝えるかっていうときに、なかなかまとまらないで、結局あまりそれをやらずにパスしてきたというのが過去の歴史だと思います。

だから、思いはそれぞれですから、こっちを直せと言う人もいるかもしれないけど、それよりかこっちを直せと言う人もいるかもしれないし、皆がそろって全会一致で要望するってことはなかなか難しいというのが現実ですけども、それでも、ひょっとしたら、いやそんなことはないよ、執行部はこれを絶対やるべきだという意見がこの特別委員会であつたらば、出してもいいかなと思いますけども。

だから、そういう感じで皆さんが思いを出して、先ほどの小田上委員の意見も含めて、スケジュール感を持って、でも、出さなくてはいけないというものではないけども、いや、今これ絶対すべきよねって皆さんがおっしゃるものがあるとすれば、出せるような体制を組んでおくって言うことかなと思うんですけども、それでよろしいですかね。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○日域委員長　そういうことで、よろしくお願いいたします。

それと、一部漏れていました。

決算特別委員会終了後の議会提案について、協議をスムーズに進めるために発言通告書の一覧表をサイドボックスに掲載することとしたいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○日域委員長　御異議なしと認め、さよう決定いたしました。

続きまして、日程5、その他についてを議題といたします。

その他、何かございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○日域委員長　ないようでございますので、以上で、日程5については終了いたします。

以上で、全ての日程を終了いたしましたので、決算特別委員会を閉会いたします。

ありがとうございました。

11時58分　閉会